

情報コーナー

自分にできることから始めてみませんか？

ボランティア募集！！

●大新田のビーチクリーンをしませんか？

と き：5月20日（日）9：00～10：00
 ところ：大新田海岸（セブンイレブン大新田さん横）
 持ち物：長靴・帽子・手ぬぐいなど作業が出来る服装
 駐車場：ナフコ大新田さん
 ※小雨決行ですが、大雨は中止となります
 問い合わせ：NPO水辺に遊ぶ会
 080-5248-7443 足利代表



●みんなで一緒に遊びませんか？

と き：5月20日（日）野原でおはなし会
 6月17日（日）グリーンカーテンの苗作り
 9：50～13：00
 ところ：中津市教育福祉センター プレーパーク
 持ち物：帽子・タオル・飲み物
 問い合わせ：みんなで遊び場をつくろう会
 090-9498-5669 原口さん



春のボランティア活動を終えて..



3月から4月の中旬にかけて中津市内の福祉施設・地域で活動をしているボランティア団体のご協力のもとにボランティア活動の体験を実施しました。

今回が初めての活動となる方が多かったのですが受け入れて頂いた施設の方は、「とても楽しそうに元気よく動いていただきました。そしてまた、来年も参加をしないと、話して帰りましたよ。」とおっしゃっていました。参加した方からは、「最初は不安でしたが子ども達の楽しそうな笑顔が見れてとてもやりがいを感じました。」「同じ施設で今回2回目の活動でしたが、顔を覚えて下さっていて嬉しかったです。」「今までで一番充実した活動でした。」との声が聞けました。

この春のボランティア活動をきっかけに、地域に根ざした活動でボランティアの輪が広がっていくきっかけになればと思いました。

●ユニバーサルポタリング大会

障がいがある方もそうでない方もみんなでサイクリングロードを自由に散策しましょう！！

と き：6月3日（日）
 9：00～15：00
 ところ：本耶馬溪町
 中津市立樋田小学校体育館
 内容：運営・自転車の前席でこぐ
 コース：青の洞門周辺とメイプル耶馬サイクリングロード
 参加費：無料
 持ち物：帽子・タオル・飲み物
 問い合わせ・申し込み
 NPO法人地域リハビリネットワークの会 ゆにぼた係
 0979-64-8658 村岡さん



平成27年から29年度の男女別参加者



職業別参加者内訳

職業別	27年度	28年度	29年度
社会人	0	0	2
専門・短大・大学	0	5	6
高校生	20	58	54
参加者数	20	63	62

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



5月号
No.230

え：よしだみずほ 2018年5月9日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）
 〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682
 《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

平成29年度 中津市ボランティア・市民活動センターの登録状況報告

中津市ボランティア・市民活動センターでは、さまざまなボランティア活動の相談支援や啓発等を行っています。ボランティア活動をしたい人とボランティア募集をしている人を繋ぎ、コーディネートや支援を行っています。ボランティアに関することならどんなことでもご相談ください。

それでは、平成29年度のボランティア登録状況についてご報告致します。

ボランティア登録人口数 30.3.31現在

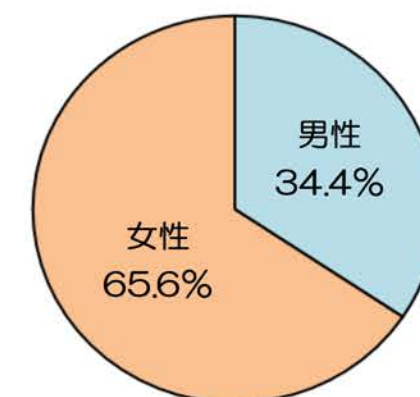
ボラ団体		団体数	ボラ人数	男性	女性	ボラ保険加入者
	中津	83	2820	952	1868	1706
	三光	10	133	21	112	96
	本耶馬溪	6	117	24	93	85
	耶馬溪	10	226	57	169	199
	山国	15	252	70	182	176
給食団体		37	528	37	491	449
合 計		161	4,076	1,161	2,915	2,711

個人ボラ	ボラ人数	男性	女性	ボラ保険加入者
被災地支援・個人・春ボラ・夏ボラ参加者	1,111	623	488	913

平成29年度 団体・個人総数	5,187	1,784	3,403	3,624
-------------------	-------	-------	-------	-------

開所日は241日でした。
センター利用者数は、1623名。

登録者数 男女比グラフ



(5,187名の男女の割合)

29年度 ボランティア保険の活動中の事故

活動中の事故による保険金の請求は、2件でしたのでご紹介します。

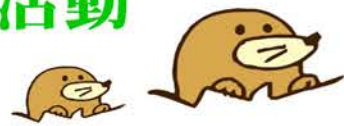


①給食ボラの活動中にお弁当箱に詰める際に後頭部から転倒した。検査をしたが脳に異常はなく、1回の受診のみでした。

②地域サロンの活動中に、自宅から乗ってきた車椅子から室内用の車椅子に移動時に、脇を抱えた介護者の背中から腰に激痛が走り圧迫骨折と診断され4日間の通院をしました。

いずれにしても大きな事故ではありませんでした。まずは、一安心です。今後もボランティアの活動中は事故が起きないように十分気をつけながら活動して下さい。

グループ活動紹介 地域を繋ぐボランティア活動 もぐらの会



「もぐらの会」は、平成6年から市内の高椋創生園で活動をはじめたボランティアグループで、現在は「特別養護老人ホーム むくの木」で活動しています。ホームで生活をしている方々に毎週土曜日の午後、新聞の記事を読んだり、季節の話や手遊び、リズム体操や歌集を見ながら思い出のある歌や懐かしい曲を歌って楽しい時間を過ごしています。

当初は、「この子たちの夏」の朗読劇を見て興味を持ち、友だち数人で中津市内の小中学校や行橋まで出向いて朗読をしていました。そんな時、市内の病院で本の読み聞かせをしてみないかと、という話がありました。それまでは、子どもさんを対象としていたので少し不安もありましたが、高椋病院さんにご相談し、快く受け入れをして下さったことから、即「もぐらの会」を結成し、現在に至っています。「もぐらの会」の由来は、いつか目を出し花を咲かせましょう！という気持ちを込めてつけた名前です。会員は、むくの木で生活をされている方に会えるのが毎週の楽しみになっています。休んだ時には、『来なくて寂しかったよ。』と言われることがあり、その一言が私たちのやりがいになっていて、これからも楽しい時間を一緒に共有していきたいと思っています。

会員数》 6名
設立》 平成6年4月
代表》 宇都宮 泰子
連絡先》 090-4772-1894



《 会からのメッセージ 》

活動のようす

私たちの会は今年で24年目となりました。会員も高齢となり、会員数も少なくなりました。私たちと一緒にこの活動をしてみませんか？また、ご興味がある方も連絡を下さい。お待ちしております。

「何のためにボランティア活動をしていますか？」

この質問を、ボランティア活動に参加されている方にとすると「自分自身のため」と答える方がたくさんいらっしゃいます。活動することで自分自身の心が磨かれ、いろんな人とのつながりができ、生活にやりがいを感じたり…ボランティア活動がもたらす効果として大きな意味を持っている部分です。

しかし、ボランティア活動が持つ意味はこれだけではないことはお分かりだと思います。「地域社会をより良くするための活動」が前提にあり、自分自身の成長のために行う他の活動（趣味や健康づくり活動への参加など）とは異なるところです。

自分たちがやっている活動がどのような目的で行われているのか、地域社会のどの部分をより良くするためにやっている活動なのか？このことを一緒にやっている「仲間」で常に共有しておくことが大切になります。活動年数が長くなり、メンバーが増えたり入れ替わったりする時は、意識して共有する機会を持たないと、一緒に物事に取り組む「仲間」ではなく、「友だち」となってしまう、自分たちが楽しいだけの活動になってしまいがちになります。

わたしたち自身がやりたいこと、やっていることは何なのか、今一度、お茶でも飲みながら「仲間」と話してみませんか？

ほらかフェ



グループ活動紹介 給食ボランティアグループ 『うしがみ』

今月のおすすめの一品 せり 芹ご飯

材 料（4人分）

- ◆米・・・2合
- ◆芹・・・50g
- ◆塩・・・少々

手順①

ご飯を炊く。

手順②

芹を茹でる⇒みじん切りにする⇒絞る⇒塩をまぶす。

手順③

ご飯に混ぜる。



会員数》 17名
活動日》 第2木曜日
活動形態》 昼配食
活動場所》 牛神集会所
対象場所》 牛神1・2・3・4
コスチューム》 ピンクの割烹着と三角巾

☆☆ 会のみなさんから一言 ☆☆

「うしがみ」は、平成7年から活動している給食ボランティア団体です。今年で23年目の活動になります。お弁当作りを通して牛神の人たちが集まり、交流を深め、地域の方と繋がることのできる楽しい会になっています。地域の方たちに、旬のものを食べてもらいたい！と今回のように芹やつくしを取りに行ったり、旬の食材を使った料理をお弁当箱に入れるため、皆で努力しています。お弁当を届けた時の笑顔や「美味しかったです」の言葉が活力源になっており、これからも続けていきたいと思っています。

祝「まーちゃん家」が開所しました



4月17日（火）に、耶馬溪町戸原地区（耶馬溪校の隣）に多機能型地域生活拠点「まーちゃん家」が開所しました。

「まーちゃん家」は、故・青木正憲氏が営んでいた「青木健康堂」の建物です。青木氏の「地域の為に活用してほしい」というご遺志により、親族関係者の方から平成28年11月、社協に相談がありました。隣に耶馬溪校があることから、福祉コースの生徒さんと地域の方がつながり、学校と地域との交流拠点となればと地域の方々、学校の先生、生徒さん、社協とで話し合い、準備してきました。開所式には、場所を無償で提供して下さったご親族の方、中津市市長、耶馬溪民生児童委員会長、副校長や14名の生徒、地域の方々の約60名が参加され、明るくにぎやかな雰囲気で行われました。5月から、福祉コース生徒さんによるサロン「だいだいクラブ」もスタートします。今後、「まーちゃん家」をさまざまな人が活用することで、生活に密着した地域の福祉拠点となっていくよう、社協も応援していきます。

